



進路に向けて動き出す

7月のガイダンスを皮切りに、3年生が進路に向けて大きく動き出しました。7月には3年生の希望者を集めて推薦等ガイダンスが行われ、三河学習・進学指導部長より推薦入試に向けての情報が開示され、今後の動きが説明されました。推薦を希望する3年生は、8月に校内で行われる推薦統一試験を受験しなければなりません。また1学期の成績が出たことから、出願の際に重要となる自分の平均評定値が確定します。また推薦統一試験の日に志望理由書の添削課題を提出しなければなりません。受験希望者の3年生は、いよいよ間近に迫った進路決定に緊張の様子でした。

8月30日には推薦統一試験が行われ、文系の生徒は英語・国語、理系の生徒は英語・数学を受験しました。そして9月に入り、いよいよ推薦の審議が始まります。進路決定に向けての動きが本格化したと言えるでしょう。

もちろん、進路決定に際しては、総合型選抜と一般選抜もあります。総合型選抜についてもすでに動きは本格化しており、そちらで進路決定を考えている3年生は動き始めています。また一般選抜を希望する3年生についても、受験における勝負の分かれ目といわれる夏が終わり、いよいよこれからは受験勉強が過熱していくわけです。いずれの場合においても、今後は気が抜けない毎日となることでしょう。

また、令和4年度大学入学共通テストの願書が希望者に配付されています。こちらについても、9月22日(水)が学校提出の締め切りとなりますので、受験を考えている3年生は早めに行動してください(現役生は学校一括出願です)。特に受験料の払い込みは早めに済ませておかなければなりません。また毎年あることなのですが、記入ミスがないように十分に注意していただきたいところです。不明な点についてはそのままにしないで進路指導室や担任の先生に相談してください。

一般選抜を考えている3年生にとっては、これから模擬試験を受験することもあるかと思えます。コロナの影響により、公開会場での受験はできない場合が多く、例年とは違う対応が迫られる場合もあります。不明な点がありましたら、これも早めに進路指導室に相談に来てください。

1、2年生は、まだまだ先のことだと思わずに、今から意識作りが必要です。特に受験学力というものは一朝一夕に身につくものではありません。加えて、自分が進みたい方向というものにも関心を持っておくことが重要です。進路選択をする際に一番よくないのが「なんとなく」というものです。どうしてそこに行きたいと思うのか、自分は将来何をやりたいのか、10年後、

20年後の自分がどうなっていたいのか、考えなければならないことはいろいろあります。「3年生になった時に(その時になったら)考えればいいや」、という人は完全に出遅れてしまうものです。どんな大学に行くかももちろん重要ですが、その先にある自分の未来というものに対して今何を取り組まなければならないのかを考えてみてください。来年(再来年)の今頃の自分がどうなっているかを考えるだけでも、今の自分の生活に何らかの変化を起こせるものですよ。



令和 4 年度
大学入学者選抜に係る
大学入学共通テスト
受験案内

出願期間	令和3年 9月27日(月) ～10月7日(木) (消印有効)
試験日	令和4年 1月15日(土)・16日(日)

★ 病室・病室や障害等のために受験上の配慮を希望する場合は、「出願前申請」が必要です。
出願前申請受付期間 令和3年8月2日(月)～9月24日(金)
この「受験案内」は、大学の入学手続が終わるまで大切に保管しておいてください。

独立行政法人 大学入試センター

大学を知る

「大学を知る」の3回目です。今回は理系の方向けになる内容が多いですが、日本大学理工学部教授の河野(平田)典子先生にお話しを伺いました。



——日本大学をご紹介ください。

日本大学の教育理念は「自主創造」です。変化の激しい世の中において、いかなる場面でも長期的視野に基づいた的確な判断ができること、夢のある未来を自主的に創造できる実力を養うこと、これらを目標とした教育が行われております。

——先生は理工学部の所属でいらっしゃいますが、貴学理工学部をご紹介ください。

日本大学理工学部は、多岐にわたる理工系の先端研究が直に学べる都心型の大学です。また大学教員と学生・院生との距離が近いことが、最大の特色です。

たとえば写真①は、日本大学理工学部数学科の最先端の純粋数学の研究を応用数理に活用したもので、Navier-Stokes方程式という微分方程式の数値解析によって再現された深海の熱水噴出流の動画です。爆発的に噴出する熱水の流れを温度の等値面(左)と中心断面内の温度分布(右)で表すことで深海の温度変遷を推察し、地球の気候変動を把握する目標に向かって、学生と共に研究しております。

また写真②は日本大学理工学部機械工学科の特色である自動車エンジンの先端研究を活かし、学生たちが自分で作った自動車を使って学生フォーミュラという自動車レースに参加している風景です。被写体の学生たち全員が、楽しそうな表情であることが大きな特徴です。自分で考え道を切り開くことを、教員と共に覚えらるる大学です。

写真③は海に浮かぶウォーターフロント建築の研究のための模型製作場面です。日本大学理工学部海洋建築工学科の得意とする分野です。とにかく楽しそうなこの場面、いかがでしょう。理工系はキツイ汚いというイメージがあると思いますが、日本大学理工学部では、様々な学びを通して、教員や先輩たちと共に、充実した日々を送ることができます。

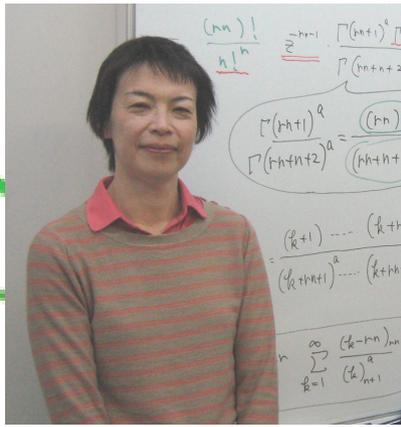
——先生のご専門を教えてください。

私は理工学部数学科で純粋数学における整数論という分野を専門としております。整数という、とびとびの値をもつ対象の研究のために、つながった複素数平面にそれらを埋め込んで解析関数を多用するという、一見矛盾するような流れで証明を行う分野です。海外の大学で過ごし、そこで学んだ全てを理工学部数学科の教育に注いでおります。学生と共に論文を出版すること、学会発表、多方面の研究者を招聘して学生との討議の機会を設けるなど、学生が先端研究に触れて充実した学学生活を送れるような教育研究に従事しております。



——本校生徒に、「理学とは何か」を説明するのが私たちでもなかなか難しいのですが、私たち教員も含めて、「理学」とはどのようなものかをお教えいただけますでしょうか。

はい。理学は工学の基礎を担う分野ですが、最近ではAIなどに直接、応用されるようになってまいりました。例えば人工知能、いわゆるAIの中心ツールである深層学習理論は、純粋数学の理論をそのまま活用する分野です。また数学は未来を予測する力を人類にもたらすことのできる唯一の学問と思われませんが、これからの数学・数理科学の発展がどれほど実社会に役立つかについては、一昔前では考えられなかったレベルになっています。Apple、Microsoftなどの大型IT企業を起業した者が全員、大学時代に純粋数学を専攻していたことは、決して偶然ではないのです。



——本校生徒へのメッセージがございましたらお願いします。

保善高等学校の生徒の皆さん、いま皆さんは、人生で最も勢いよく伸びる時期であろうと拝察します。どんなことにも好奇心をいだき、いつでも夢を持ち続けられるようにお願いします。理工系の分野に興味を持ってくださり、日本大学理工学部のことを調べていただいて、いつの日かお会いできる機会がありますと、心から嬉しく思います。

(使用させていただいた写真は、河野先生、学生のみなさんの許可をいただいております)

専門学校・就職について

専門学校のAO入試は学校によってその開始時期がバラバラです。専門学校を検討している人は自分の関心のある分野の学校の要項で確認してください。推薦入試は10月1日から始まります。また専門学校の一般入試は11月1日から始まります。試験の内容については学校によってさまざまなので、関心がある人は早めに調べておきましょう。

就職に関しては、7月1日に求人票が解禁され、9月5日から出願が開始され、9月16日から試験が開始されます。1回目の出願で併願はできません(10月以降の2回目出願からは併願が可能になりました)。高校生は学校を通しての出願しか認められておりませんので注意が必要です。公務員試験は出願が早く、1学期中にしておかなければなりません。

GPAってなんだ？

高校での成績は基本5段階です(本校では10段階で通知表に記載されますが、学年末にそれを5段階にしています)。大学の場合だと、成績の表し方は大学によってさまざまです。アルファベット(A~Fなど)で表すところもあれば、高校と同じ数字を使ったり、昔からのやり方だと漢字(優・良・可、など)を使ったりすることもあります。

こうした成績を、ある算出方法によって数値化したものがGPA(Grade Point Average)となります。このGPAは、もともと欧米の大学を中心に採用されている成績指標だそうですが、近年日本でも導入する大学がかなり増えてきたそうです。GPAは、就職活動はもちろんのこと(外資系企業は特に)、海外留学や奨学金、ゼミや研究室の配属にも影響を及ぼす場合があります。

それぞれの成績にはポイントが定められており、単純に言えばその合計を単位数で割ったものがGPAということになります。ただ、欧米の場合ではGPAの基準はある程度統一されているのだそうですが、日本ではまだ統一されていないようで、その基準も大学によって異なるそうです。アメリカの場合だとGPAが低いと退学を勧告される場合もあるのだそうで、なかなかシビアなようですが、日本ではまだそこまでの話は聞いたことがありません。導入されてまだ日が浅いことと、大学によって基準がさまざま

ということもあって、あまり気にしない学生もいると聞きます。GPAの平均値はだいたい2.0~2.7だそうです。九州大学ではGPA2.0を卒業の目安に定めているといえますから、GPAが低いと退学を勧告されるというケースも今後ありうるかもしれません。

また、このGPAは当然のことながら出身高校別に分析されていることも考えられます。例えば本校からある大学に進学した卒業生たちのGPA平均が高かったら、あるいは低かったら……。これ以上はあまり言わなくともお分かりいただけますね。



トピックス

大学の説明会の形態

コロナ感染拡大を受け、今年度も大学の説明会(オープンキャンパス)はいろいろと制約を受けています。対面式でやる場合においても予約は必要なことがほとんどで、これから開催されるものについてもそれは同様だと考えてください。またオンラインでの開催も行われていて、オンラインの特徴を生かした体験などもさせてくれるところがあるようです。まずは大学のHPを見て、どのような説明会をやっているかチェックしてみてください。

模試は自宅受験が増加

コロナ感染拡大予防のため、模擬試験を公開会場で受験することが難しくなっています。予備校各社においては、予備校に通学する学生のみ限定するケースが多く、それ以外の場合だと難しくなっています。わずかに通学生以外の枠が用意されている場合もありますが、早い者勝ちが基本なので、締め切りが近くなるとまずその枠は残っていないと思ってください。

大学のオンライン授業

大学は高校とは比較にならないくらい学生数が多いため、クラスター発生を懸念してオンライン授業が行われている場合が多いのが実情です。とある調査によると、1年生の場合は「すべて対面授業」4.1%、「対面授業とオンライン授業があり対面授業が多い」7.9%、「対面授業とオンライン授業が同じくらい」5.4%、「対面授業とオンライン授業がありオンライン授業が多い」60.5%、「すべてオンライン授業」21.5%となっています。十分なネット環境がないと大学の授業は受けられないのですね。



映画『薔薇の名前』をご存じでしょうか。だいぶ古い作品なのでちょっと説明しますと、中世イタリア修道院でとある禁書をめぐって殺人事件が起こります。修道士の一人がその事件の解決に乗り出すわけですが、最後は意外な結末となるというお話です。ネタバレになってしましますが、その「禁書」とはアリストテレスが書いたとされる「喜劇論」でした。現存する「悲劇論」とは異なり「喜劇論」は書かれたことはわかっていても現存はしていません。ある人物が「笑いは人を墮落させる」としてその書を禁書としたわけですが、中を見たい誘惑にかられた者が殺されていくというお話です。

さて、この「人を墮落させる」という「笑い」ですが、私たちは普段自分がどんな内容に対してどんな風に笑っているのか、意外に気づかないものではないでしょうか。先日テレビを見ていたら、芸能人がコーラスにチャレンジし、「24時間テレビ」でそれを全国の高校生と一緒に披露するというドキュメンタリーを放送していました。歌い終わって感動に涙する芸能人に対して、その泣き顔が面白いということで番組内では爆笑となっていました。はて、ここは笑うところなのだろうかとは私は疑問に思いました。少なくともその努力、苦勞の末に流された涙は、その顔がいかに面白くとも笑いにはいけないだろうと思うのは少し堅苦しいでしょうかね。

自分の笑っている姿が人にどう見えるのか、時には考えてみるのもいいかもしれません。少なくとも「墮落した」笑いと思われるようではありたくないものです。